

東東小コミュニティ・スクール通信

令和4年 12月23日発行 No.3 発行者 東小学校コミュニティ・スクール協議会事務局

令和4年度第2回東小学校コミュニティ・スクール協議会より 令和4年12月13日(火)

1 今年度の学校運営の取組状況について

- 全国学力・学習状況調査、学校評価等について校長、教頭より説明しました。

2 「地域学校協働活動組織」について

- ありがたいことに、東小地区においては、コミュニティ・スクール協議会ができる以前から、様々なボランティアの活動が行われています。令和元年度までは、年度初めに「学校支援ボランティア協議会」が開催され、地域のネットワークがしっかりと構築されていましたが、コロナ禍により活動がストップしました。ようやく縮小された形ではありますが、活動が少しずつ再開されてきている状況です。
- 学校・家庭・地域が目標を共有して、子どもたちを育てていく「東小学校コミュニティ・スクール協議会」の設置により、地域で活動している様々な団体・方々のつながりを「地域学校協働活動組織(案)」としてまとめました(下図)。

《今後に向けて協議された内容》

- 重複している事業や連携できる事業については合同で実施したり、活動内容の精選・統合・廃止・継続等の調整を行っていく。
- コミュニティ・スクール協議会とPTA活動との関係性を、今後のPTA活動とあわせて検討していきたい。
- 育てたい子ども像を共有しながら、学校は何をしてほしいのか、要望を聞いたり、相談したりしながら活動を進めていきたい。
- 活動を進める中で、「各団体やボランティアの方々の世代交代」が進むよう期待したい。
- **帯広市コミュニティ・スクール通信(帯広市教育委員会学校地域連携課発)より**
 - ・ コロナ禍で、学校や地域の活動には制限がありますが、このようなときだからこそ、保護者や地域の方は学校での子どもたちの様子や課題などを知り、学校の先生方は家庭や地域の方が地域の子どものように感じているかを知ること、すなわち「学校・家庭・地域の連携」が大切です。

令和4年度 東小学校コミュニティ・スクール協議会 地域学校協働活動組織(案)

<帯広市教育基本理念> 心ふるさとの風土に学び 人がきらめき 人がつながる おびひろの教育
 <東小学校の重点> 深く考え 心豊かで、ねばり強い 東の子 (すすんで なかよく たくましく)
 <翔陽中エリアの目標> ふるさとを愛し、地域づくりに貢献する人を目指して
 <東小コミュニティ・スクール協議会の目指す子ども像>
 ○「知」～基礎基本や読書を大切に! ○「徳」～あいさつ・感謝、自ら考える体験を! ○「ふるさと」～自然の豊かさを伝える・つなぐ!



●保護者・地域・学校・各団体の皆様の、連携・協力をお願いいたします。